

週刊 かわら版

生徒と保護者のための



中間考査の 反省をどう生かす

おそらく、この「かわら版」を手にする頃には、中間考査も終わり、様々な思いを持っていることだろう。

試験教科数も少なく、試験範囲も少なかったであろう今回の試験、比較的自分のペースで試験に臨めたのではないだろうか。
「意外に簡単だった」「もっと勉強しておけば良かった」など、様々な声が聞こえてきそうである。
さて、来週には答案の返却があるだろう。「できなかった」と嘆くより、「わからなかったところがわかった」と復習をしていくことで、少しずつ自分の得意な部分を埋めていくことである。

資格試験の勉強方法として、過去問題を何度も解いて



先見コーナー

- 5/21(土) ○第1回自専攻科オープンキャンパス
○県高校将棋大会(～22)
- 5/23(月) ○全校朝会・教育実習(～6/3) ○3年介護実習(～6/10)
○1年介護実習体験学習(～5/27)
○頭髪最終検査
- 5/24(火) ○学科朝会(普通系MH・マルチ 体育館・特進 図書館)
- 5/25(水) ○学科朝会(シスMH・自工 体育館・医福 図書館)
○情報祭委員会 13:15～ ○県高校総体柔道競技大会(～26)
○日本学生支援機構奨学金説明会(生徒) 13:15 MMH
- 5/26(木) ○学科朝会(メカ 図書館・処理 マルチ)
- 5/27(金) ○学園姉妹校ガイダンス(3年)(5・6限)
- 5/28(土) ○土曜補習(e・プ・特)
- 5/29(日) ○TOEIC ○国連英検
- 5/30(月) ○成績伝票提出
- 6/01(水) ○歯科検診(3年) ○情報祭委員会 13:15 MMH
- 6/02(木) ○歯科検診(2年)
- 6/03(金) ○歯科検診(1年)
- 6/04(土) ○ものづくりコンテスト鹿児島大会
○3年進研模試マーク(～5日)
○1・2年土曜補習(e・プ・特)
○漢検(17日に変更)
- 6/05(日) ○第二種電気工事士(筆記)

次のかわら版6号(通算42号)は5月27日(金)に発行予定です。

資格試験情報

- 受験希望調べ
- ・低圧電気
- ・ボイラー取扱
- 5月23日までに
- ・CG ARTS検定
- 5月26日までに
- 希望調べで人数を把握したあと正式に受験の受付をします。

事務室から

大切なお知らせ

一年生のご家庭に「校納金月別明細表」を配布しています。ご確認ください。寮生の方は郵送します。

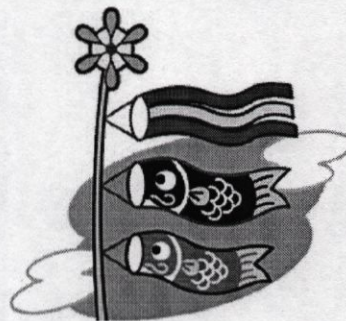
奨学生募集情報

- 日本学生支援機構 予約奨学生募集
- ・高校卒業後、上級学校に進学を予定している生徒
- ・提出期限6月14日までに
- ・スカラネット(インターネット上)で登録をする作業もある。
- ・詳細については5月25日(水)昼休みに実施の説明会で。(生徒のみ)
- 産経新聞奨学生募集
- ・首都圏の上級学校に進学を希望する生徒対象。
- ・新聞配達することで奨学金を貸与。(返済不要)

希望者は説明会あり。詳しくは進学指導室へ。

県美展のお知らせ

○県美展
開催日平成28年5月14日(土)～5月22日(日)
9時30分～18時まで
会場
県歴史資料センター黎明館
鹿児島市立美術館



編集後記

心地よい風に、こいのぼりが元氣よく舞っている。そして19日は立夏。暦(こよみ)のうえではもう夏である。

いよいよ、来週から教育実習生の実習が始まる。この時期の楽しみでもある。本校を卒業した生徒がひと回りも、ふた回りも成長して、母校に帰ってくる。その教科も体育、英語、福祉など多彩である。教師として巣立ち、育っていくかもしれない楽しみもある。

そして、彼らから、生徒も教師も新しい風をもらうことも多い。

清川流

先日の中日新聞にこんな記事があった。「ある調査によると、日本人の好きな季節は、四月と五月がトップになっていた。すがすがしい空気、明るい日差し、過ごしやすき若葉の季節はやはり、人気が高い。しかし、この美しき五月が苦手であるという人もいる。四月からの新生活の疲れが出てくる時期でもある」▼また、南日本新聞ひろばの欄には「迷った時に本を開く」という本校三年生安樂明日望さんの投稿が載った。「本の中の世界、それは私の想像力が試され、豊かにさせてくれる」と書いていた。おぼちやんからもらった大切な本、何かに迷った時、その本を開きもう一度読むという▼悩んだ時に、解決の手助けとなるものは人それぞれであろう。本の中に手助けを求める人、友達や両親、先輩、先生にそれを求める人、時には大好きな歌手の歌に手助けを求める人もいるだろう。いずれにしても、ひとりでも悩むよりは、何かにその助けを求めることも大切である▼そして、冒頭の新聞記事は次のような室生犀星の「五月」を紹介していた。「悲しめるもののためにみどり輝く 苦しみ生きむとするもののために ああ みどり は輝く」まぶしき新緑はわれわれの味方である。